

スコアシート		実施設計段階		建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		全体
配慮項目	環境配慮設計の概要記入欄	評価点	重み係数	評価点	重み係数			
Q 建築物の環境品質								2.6
Q1 室内環境			0.40					2.8
1 音環境		2.6	0.15					2.6
1.1 騒音		3.0	0.40					
1.2 遮音		3.0	0.40					
1 開口部遮音性能		3.0	0.78					
2 界壁遮音性能		3.0	0.22					
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)								
4 界床遮音性能(重量衝撃源)								
1.3 吸音		1.0	0.20					
2 温熱環境		2.0	0.35					2.0
2.1 室温制御		3.0	0.50					
1 室温		3.0	0.44					
2 外皮性能		3.0	0.21					
3 ゾーン別制御性		3.0	0.35					
2.2 湿度制御		1.0	0.20					
2.3 空調方式		1.0	0.30					
3 光・視環境		3.0	0.25					3.0
3.1 昼光利用		3.0	0.75					
1 昼光率								
2 方位別開口								
3 昼光利用設備		3.0	1.00					
3.2 グレア対策								
1 昼光制御								
3.3 照度								
3.4 照明制御		3.0	0.25					
4 空気質環境		4.0	0.25					4.0
4.1 発生源対策		5.0	0.50					
1 化学汚染物質	F☆☆☆☆・告示対象外建材及び低VOC建材の採用	5.0	1.00					
4.2 換気		3.0	0.30					
1 換気量		3.0	0.50					
2 自然換気性能								
3 取り入れ外気への配慮		3.0	0.50					
4.3 運用管理		3.0	0.20					
1 CO ₂ の監視								
2 喫煙の制御		3.0	1.00					
Q2 サービス性能			0.30					3.1
1 機能性		3.1	0.40					3.1
1.1 機能性・使いやすさ		3.0	0.40					
1 広さ・収納性								
2 高度情報通信設備対応								
3 バリアフリー計画		3.0	1.00					
1.2 心理性・快適性		2.4	0.30					
1 広さ感・景観		1.0	0.29					
2 リフレッシュスペース		3.0	0.02					
3 内装計画		3.0	0.69					
1.3 維持管理		4.0	0.30					
1 維持管理に配慮した設計	外装設計に大きめの庇やサッシ水切の設置、防錆対策、内部仕上材のメンテナンス減減に配慮	5.0	0.50					
2 維持管理用機能の確保		3.0	0.50					
2 耐用性・信頼性		3.0	0.30					3.0
2.1 耐震・免震		3.0	0.50					
1 耐震性		3.0	0.80					
2 免震・制振性能		3.0	0.20					
2.2 部品・部材の耐用年数		3.4	0.30					
1 躯体材料の耐用年数		3.0	0.20					
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔		2.0	0.20					
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔		3.0	0.10					
4 空調換気ダクトの更新必要間隔	SUS製ダクト・ガルバリウム製ダクトの採用	5.0	0.10					
5 空調・給排水配管の更新必要間隔	汚水排水:VP(B)、給水:VLP(B)、給湯:SUS(C)(Eは不使用)	5.0	0.20					
6 主要設備機器の更新必要間隔		3.0	0.20					

2.4 信頼性			2.6	0.20		-	
1	空調・換気設備		3.0	0.20		-	
2	給排水・衛生設備		2.0	0.20		-	
3	電気設備		3.0	0.20		-	
4	機械・配管支持方法		3.0	0.20		-	
5	通信・情報設備		2.0	0.20		-	
3 対応性・更新性			3.4	0.30		-	3.4
3.1 空間のゆとり			4.3	0.30		-	
1	階高のゆとり	階高(平均値):5.56m(1F:5.6m、2F:4.9m、3F:6.2m)	5.0	0.36		-	
2	空間の形状・自由さ	1階の壁長さ比率=0.15	4.0	0.64		-	
3.2 荷重のゆとり			3.0	0.30		-	
3.3 設備の更新性			3.0	0.40		-	
1	空調配管の更新性		3.0	0.20		-	
2	給排水管の更新性		3.0	0.20		-	
3	電気配線の更新性		3.0	0.10		-	
4	通信配線の更新性		3.0	0.10		-	
5	設備機器の更新性		3.0	0.20		-	
6	バックアップスペースの確保		3.0	0.20		-	
Q3 室外環境(敷地内)			-	0.30		-	1.7
1 生物環境の保全と創出			1.0	0.30		-	1.0
2 まちなみ・景観への配慮			2.0	0.40		-	2.0
3 地域性・アメニティへの配慮			2.0	0.30		-	2.0
3.1 地域性への配慮、快適性の向上			2.0	0.50		-	
3.2 敷地内温熱環境の向上			2.0	0.50		-	
LR 建築物の環境負荷低減性			-	-		-	3.4
LR1 エネルギー			-	0.40		-	3.7
1 建物外皮の熱負荷抑制		BPIm=0.86	4.0	0.20		-	4.0
2 自然エネルギー利用			3.0	0.10		-	3.0
3 設備システムの高効率化		BEIm 非住宅 0.77 住宅(専有部) -	4.0	0.50		-	4.0
		集合住宅以外の評価(3a.3b)	4.0	1.00		-	
		集合住宅の評価(3c)		-		-	
4 効率的運用			3.0	0.20		-	3.0
		集合住宅以外の評価	3.0	1.00		-	
4.1 モニタリング			3.0	0.50		-	
4.2 運用管理体制			3.0	0.50		-	
		集合住宅の評価		-		-	
4.1 モニタリング				-		-	
4.2 運用管理体制				-		-	
LR2 資源・マテリアル			-	0.30		-	3.2
1 水資源保護			3.4	0.20		-	3.4
1.1 節水		泡沫・自動水栓及び節水型便器の採用	4.0	0.40		-	
1.2 雨水利用・雑排水等の利用			3.0	0.60		-	
1		雨水利用システム導入の有無	3.0	0.70		-	
2		雑排水等利用システム導入の有無	3.0	0.30		-	
2 非再生性資源の使用量削減			3.2	0.60		-	3.2
2.1 材料使用量の削減			2.0	0.10		-	
2.2 既存建築躯体等の継続使用			3.0	0.20		-	
2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用		-	3.0	0.20		-	
2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用		グリーン調達品目 再生骨材(再生砕石) 路盤材ほか	3.0	0.20		-	
2.5 持続可能な森林から産出された木材			2.0	0.10		-	
2.6 部材の再利用可能性向上への取組み		鉄骨造(乾式)のため、内装と設備が容易に取り外すことができる。また、軽鉄下地のため躯体と仕上材が容易に分別可能である。	5.0	0.20		-	
3 汚染物質含有材料の使用回避			3.0	0.20		-	3.0
3.1 有害物質を含まない材料の使用			3.0	0.30		-	
3.2 フロン・ハロンの回避			3.0	0.70		-	
1		消火剤	-	-		-	
2		発泡剤(断熱材等)	3.0	0.50		-	
3		冷媒	3.0	0.50		-	
LR3 敷地外環境			-	0.30		-	3.2
1 地球温暖化への配慮		LCCO2排出率=80%	3.7	0.33		-	3.7
2 地域環境への配慮			3.0	0.33		-	3.0
2.1 大気汚染防止			3.0	0.25		-	
2.2 温熱環境悪化の改善			3.0	0.50		-	
2.3 地域インフラへの負荷抑制			3.2	0.25		-	
1		雨水排水負荷低減	3.0	0.25		-	
2		汚水処理負荷抑制	3.0	0.25		-	
3		交通負荷抑制	4.0	0.25		-	
4		廃棄物処理負荷抑制	3.0	0.25		-	
3 周辺環境への配慮			3.0	0.33		-	3.0
3.1 騒音・振動・悪臭の防止			3.0	0.40		-	
1		騒音	3.0	1.00		-	
2		振動	-	-		-	
3		悪臭	-	-		-	
3.2 風害、砂塵、日照障害の抑制			3.0	0.40		-	
1		風害の抑制	3.0	0.70		-	
2		砂塵の抑制		-		-	
3		日照障害の抑制	3.0	0.30		-	
3.3 光害の抑制			3.0	0.20		-	
1		屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策	3.0	0.70		-	
2		壁光の建物外壁による反射光(グレア)への対策	3.0	0.30		-	